



ベビー & チャイルドシート

G-FLOW

ジーフロウ

取扱説明書／保証書

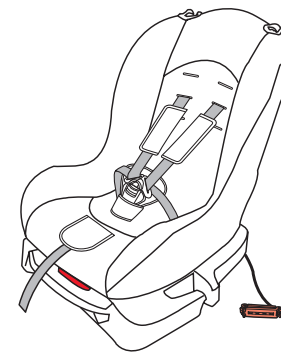
体重**2.5kgから18kgまで**のお子さま用です。

本製品は、ECE規則No.16または他の同等の基準に基づいて認可された自動車3点式／リトラクター付きシートベルトを装備した車に限り使用できます。

このたびは、グレコ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前に、取扱説明書(本書)をよくお読みのうえ正しくお使いください。
また、お読みになった後は、**本書を取扱説明書収納ポケットに常備し、大切に保管してください。**
本書に記載されている以外の方法で使用しないでください。
製品の機能が充分発揮されないだけでなく危険です。

ECE-R44／04（ヨーロッパ統一規則）適合
汎用グループ0+、グループⅠ、2.5kgから18kgまで。

対応体重 グループ0+：2.5kgから13kg未満
グループⅠ：9kgから18kgまで



ご使用前に
〈P2〉

取り付ける前に
〈P12〉

車への取り付け
〈P17〉

お手入れ
〈P26〉

〈お願い〉

- ・本書に使用しているイラストは、操作方法や仕組みなどを分かりやすくするため、実物とは多少異なる場合があります。
- ・本書の内容について、誤りや記載もれなどお気づきの点がありましたら、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。
- ・製品の品質向上のため、予告なしに一部仕様変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

製造元：グレコ・チルドレンズプロダクツ インク

輸入販売元(連絡先)：アップリカ・チルドレンズプロダクツ合同会社

〒542-0082 大阪市中央区島之内1-13-13

アップリカ・チルドレンズプロダクツ合同会社

お客様サポートセンター TEL 0120-415-814 携帯電話からご利用の場合(通話料お客様負担) TEL 0570-004-155

ご使用前に

チャイルドシートについて	2
保護者の方へのアドバイス	2
本書の表示について	2
各部のなまえ	3
お子さまの条件	5
座席の条件	6
シートベルトの条件	8
ご使用上の注意	10

取り付ける前に

リクライニングの使いかた	12
肩ハーネスの高さ調節のしかた	13
パッド類の使いかた	16

車への取り付け

取り付け準備	17
後向き／取り付けかた	19
後向き／取り付け後の確認	21
前向き／取り付けかた	22
前向き／取り付け後の確認	23
お子さまの乗せかた	24
お子さまの乗せかたの確認	25

お手入れ

シートカバーの外しかた	26
お手入れ／保管／廃棄のしかた	28
困ったときは	29
保証について	31
アフターサービスについての連絡先	32
MEMO	33
保証書	34

チャイルドシートについて

- ・チャイルドシートはシートベルトで自動車の座席に固定して使用し、自動車事故などの際に、お子さまの傷害を軽減しますが必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。
- ・日本国内及び、ECE規則を批准している国での使用は可能です。保証については日本国内においてのみ有効です。
- ・取扱説明書に説明されている方法以外で使用しないでください。衝突などの際に十分な性能を発揮することができないおそれがあります。

＜中古品のご使用について＞

- ・前の使用者の使用履歴が分からない場合や、使用状態が不明な製品を使用しないでください。事故などにより強い衝撃が加わった可能性があり、衝突などの際に十分な性能を発揮することができないおそれがあります。
- ・クラック（ひび割れ）や大きなキズ、留め金部の緩みなどがある場合は、使用しないでください。衝突などの際に十分な性能を発揮することができないおそれがあります。

本書の表示について

- ・「**危険**」、「**警告**」、「**注意**」の表示は、これらの注意事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度の大きさにより区分したものです。大変重要な内容ですので、必ずお守りください。

表 示	表 示 の 内 容
 危 険	誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定されます。
 警 告	誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。
 注 意	誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定されます。

保護者の方へのアドバイス

- ・お子さまをはじめて車に乗せる時から、チャイルドシートの使用を習慣にしてください。
- ・長距離を走る場合は、1時間おきに休憩をとり、お子さまをシートから降ろしてあげてください。また、発達段階にあった姿勢をとってあげることも大切です。
- ・授乳後30分位は吐き戻しやすいのでご注意ください。

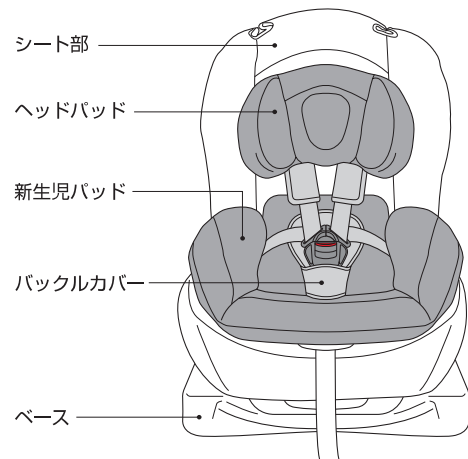
 製品の取扱いにおける禁止行為です。

 **アドバイス** 製品の取り扱いで知っておくと便利な内容です。

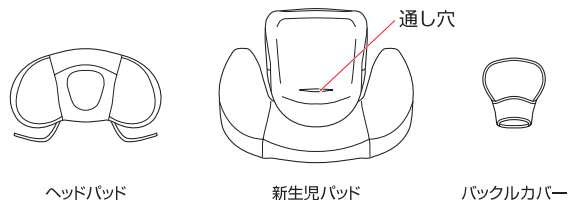
各部のなまえ

梱包内容

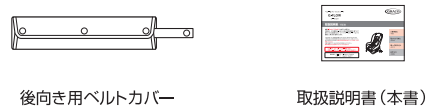
・ご使用前に、各部品がそろっていることをご確認ください。



〈パッド類〉(P16参照) ・箱から取り出した状態では、本体にセットされています。



〈付属品〉



〈重要〉ご使用前に、お客様情報登録のお願い

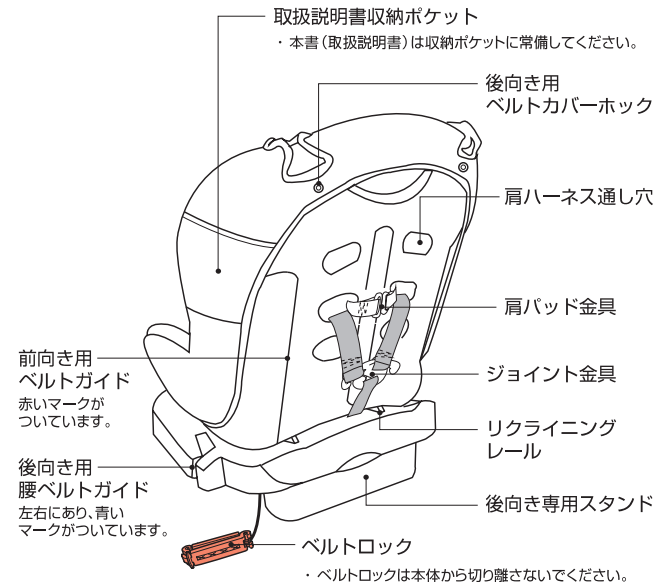
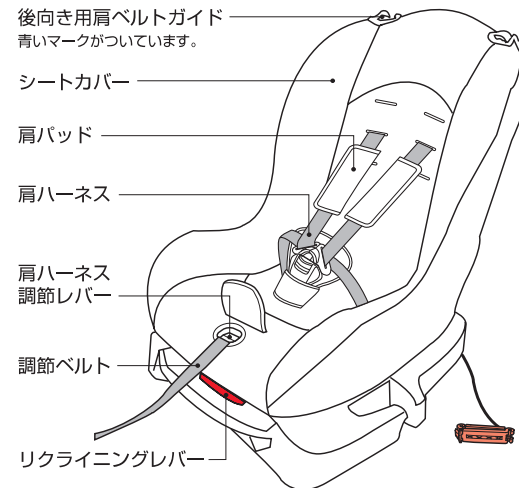
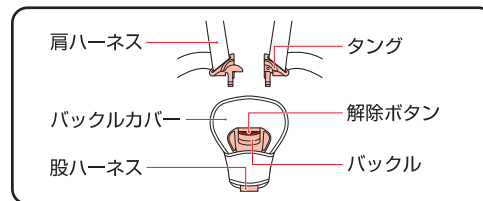
弊社では、万一お買い上げいただいた製品に問題があることが判明してリコールを実施する場合に、直接その内容をお知らせするために、お客様登録システムを導入しております。
安心してチャイルドシートをご使用いただくために、お買い上げ日より一か月以内に必ず登録をお願い致します。

弊社ホームページ <http://www.aprica.jp/>

お客様情報登録



QRコード



ご使用前に

お子さまの条件

- ・下記の条件を満たさないお子さまには**絶対使用しないでください**。
条件を満たさないお子さまには事故時に十分な効果を発揮できません。

お子さまの体重にあわせて、2通りの使いかたがあります。

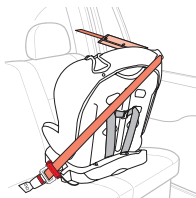
後向き（体重2.5kgから13kg未満）

〈肩ハーネス通し穴位置〉

- ・お子さまの成長にあわせて
下から1～2段目を使用。

〈パッド類〉

- ・新生児パッド使用可能
- ・ヘッドパッド使用可能
- ・バックルカバー必要
- ・肩パッド必要



・体重の条件を満たしていないお子さまは使用しない。

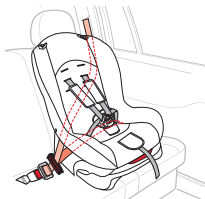
前向き（体重9kgから18kgまで）

〈肩ハーネス通し穴位置〉

- ・お子さまの成長にあわせて
下から2～3段目を使用。

〈パッド類〉

- ・ヘッドパッド使用可能
- ・バックルカバー必要
- ・肩パッド必要



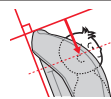
危険

・体重が9kg未満のお子さまは前向きでは使用しない。



警告

・お子さまを座らせた時、耳の上端部が本体の上端部より下になること。



座席の条件

〈お奨めする取り付け座席の位置〉

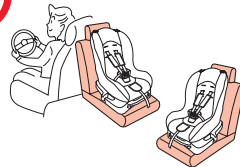
- ・お子さまの安全性を高めるために、運転席より後ろの列の座席に取り付けることをお奨めいたします。

〈サイドエアバッグが装備された座席に取り付ける場合の注意〉

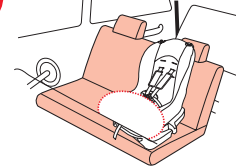
- ・サイドエアバッグやカーテンエアバッグのみの座席には使用できません。
- ・車の取扱説明書にチャイルドシートの使用に関する記載がある場合は指示に従ってください。

〈取り付けできない座席〉

- ・進行方向に対して横向き及び後ろ向きの座席。



- ・フロントエアバッグが装備された助手席。



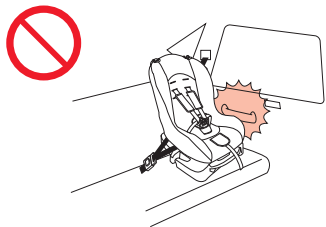
- ・ビラーなどに接触して、正しく取り付けできない座席。



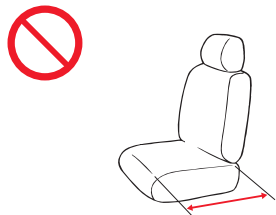
座席の条件

〈取り付けできない座席〉

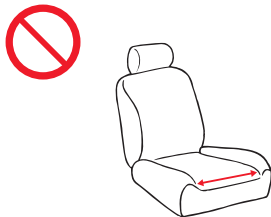
- ・本製品が車のドアトリムなどに干渉し、ドアを閉めることができない座席。



- ・奥行きが足りず、正しく取り付けができない座席。
(補助席や幼児専用座席。)



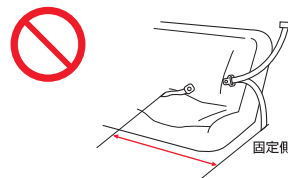
- ・座面のフラット面が狭く正しく取り付けができない座席。
(極端なバケットシート、スポーツ車、レース車、補助座席、幼児専用座席、市販座席に取り替えられた車両など)



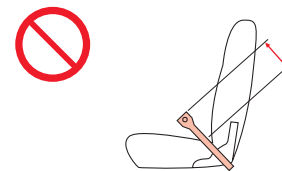
シートベルトの条件

〈取り付けできない座席〉

- ・シートベルトの取り付け幅が狭く、本製品でバックルを踏みつける座席。



- ・バックル側のベルトが固い樹脂製などでかつバックルが長い場合、正しく取り付けができない座席。
(一部のRV車)



- ・バックル及び腰シートベルトが高い位置から出て、正しく取り付けができない座席。



〈シートベルトの条件〉

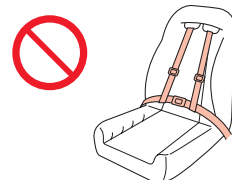
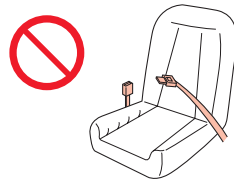
- ・本製品は、ECE規則No.16または他の同等の基準に基づいて認可された自動車3点式/リトラクター付きシートベルトを装備した車に限り使用できます。

シートベルトの種類		特 徴	取り付け上の注意点
3点式シートベルト	ELR付シートベルト (緊急ロック式巻取装置付)	通常はシートベルトが肩側の取り付け部から自由に出し入れでき、急ブレーキや衝突などの時だけロックされる。	シートベルトをゆるやかに引き出し使用すること。
	ALR/ELR付シートベルト (チャイルドロック機構付)	シートベルトを全て引き出すと、入る方向にしか動かない機構付です。全て巻き取るとロックが解除されます。	シートベルトを全てもどすと、チャイルドシート固定機構が解除されます。
	その他	上記に当てはまらないシートベルト。	本製品は、ご使用できません。

シートベルトの条件

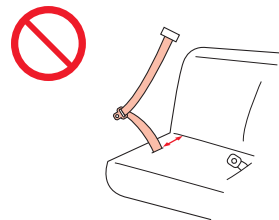
〈以下のシートベルトでは使用しないでください〉

- ・2点式シートベルトの座席。
- ・シートベルトの取り付け部が上下共巻き取り式の座席。
- ・パッシブシートベルトの座席。(座席に座ってドアを閉めると自動的にシートベルトが装着される座席)
- ・市販のスポーツタイプのシートベルトが装備されている座席。



〈以下の3点式シートベルトでは使用しないでください〉

- ・バックル及び腰シートベルトが前方から出て、リクライニング機構もなく、正しく取り付けができない座席。
- ・シートベルトの長さが短く、正しく固定できない座席。



ご使用上の注意



危険

誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。

- ・いかなる場合にも、フロントエアバッグ装備車の助手席には本製品を取り付けない
- ・チャイルドシートが正しく固定できない座席では使用しない。
- ・チャイルドシートの固定が不完全でシートベルトに“ゆるみ”がある場合は使用しない。
- ・シートベルトに損傷がある座席には取り付けない。
- ・補助座席、幼児専用座席には使用しない。
- ・チャイルドシートのバックルを解除した状態で使用しない。
- ・お子さまが立ったり、中腰、正座をした状態では使用しない。
- ・チャイルドシートを本書及び、本体表示ラベルの説明以外の方法で取り付けない。



警告

誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

- ・お子さまを一人で車内に残さない。
- ・肩ハーネス、腰ハーネスは、ねじれたり、緩んだ状態で使用しない。
- ・腰ハーネスは骨盤上以外で着用しない。
- ・同時に二人以上で使用しない。
- ・緊急時の脱出の妨げになる座席にはチャイルドシートを取り付けない。(例:片側スライドドアのドア側座席など)
- ・チャイルドシートの底面的一部分にクッション、座布団などを敷かない。
- ・肩ハーネスや股ハーネスに損傷、亀裂、焦げなどがある場合は使用しない。
- ・肩ハーネスは、お子さまの肩以外の位置で使用しない。
- ・車の走行中にベルト調節、リクライニングや回転などの操作を行わない。
- ・チャイルドシート使用中、お子さまにバックルの解除ボタンを触らせない。
- ・お子さまを拘束したままリクライニングを起こさない。
- ・お子さまの耳の上端部が本体の上端部より上に出ないこと。
- ・バックルに水やジュース、泥水、ゴミなどが入った場合は使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。
- ・事故や落下などによる強い衝撃が加わった後は使用しない。
- ・本製品を分解、改造、及び指定部品以外の交換はしない。
- ・シートカバーやクッション材は付属のもの以外を使用しない。
- ・シートカバーやクッション材を外したり、他のものと交換したり、破れた状態で使用しない。
- ・お子さまの遊び道具として使用させない。
- ・保護者、介添者などが椅子など腰掛けとして使用しない。
- ・梱包袋は手の届くところに放置しない。お子さまがかぶり窒息するおそれがあります。

ご使用上の注意



注意

誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

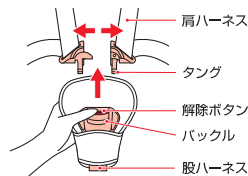
- ・チャイルドシートを直射日光にさらさない。金属部分などが熱くなり、やけどのおそれがあります。
- ・可動式シートまたは、車のドアにチャイルドシートの剛性部分やプラスチック部分を挟まない。
- ・シートベルトで固定していないチャイルドシートを車内に置かない。また、衝突の際に傷害の原因になるおそれのある荷物などは車内に置かない。
- ・チャイルドシートがシフトレバーやパーキングブレーキなどの操作に支障をきたす座席には取り付けない。
- ・車の座席が革仕様の場合には、直接取り付けない。
- ・火などの近くに放置したり、長時間屋外に放置しない。
- ・シートベルトで固定せずに、通常の椅子として使用しない。
- ・お子さまが乗っていない場合でも、チャイルドシートのタングはバックルから外しておかない。
- ・お子さまにチャイルドシートの取り付けや、操作をさせない。
- ・チャイルドシートに重量物を載せない。
- ・砂やほこりの多い場所で使用するとベースなど可動部分に詰まり故障の原因になります。
- ・本体の洗浄にはシンナーなどの溶剤を使用しない。
- ・本体に貼り付けられたシールは、はがさない。

・本製品の取り付けや取り扱いに関する不明点がありましたら、販売店または弊社お客様サポートセンターにご相談ください。(P32参照)

緊急時のお子さまの降ろしかた

緊急の時はあわてずに…

- ①バックルの解除ボタンを押し、タングを外す。
- ②肩ハーネスをお子さまから外す。
- ③お子さまをチャイルドシートから降ろす。
- ④安全な場所へ避難する。



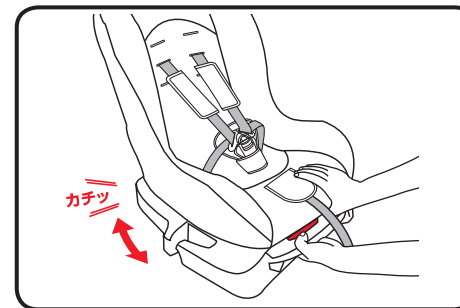
バックルからタングが抜けない時は…

- チャイルドシートの肩ハーネスをシートベルトカッター（市販品）などで切り、お子さまを降ろす。



リクライニングの使いかた

〈前向き3段階リクライニング〉



リクライニングレバーを握りながら本体の下を持ち、傾けると角度を3段階で調節できます。（前向き使用時のみ）

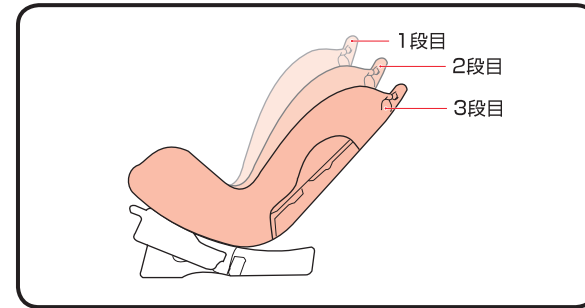


2段目の角度でとめる場合、本体が傾きだしたらすぐリクライニングレバーから手をはなして傾けると「カチッ」とロック音がして2段目でロックされます。



注意

・リクライニングレールは直射日光にあたり、熱くなっている場合がありますのでご注意ください。

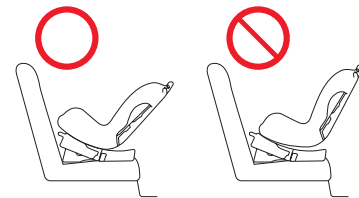


後向きでは3段目のみを使用します。



危険

・後向き使用時、3段階リクライニングを3段目以外で使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

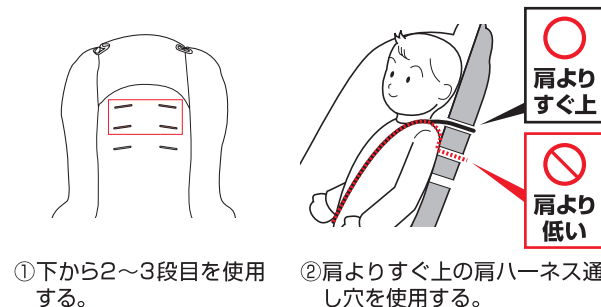
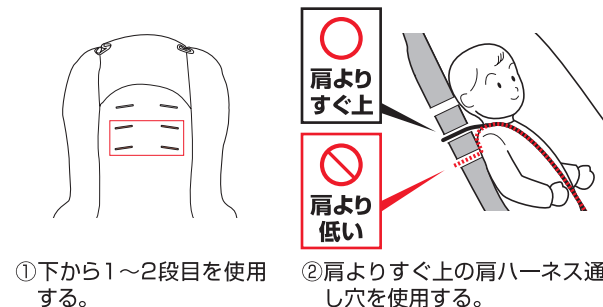


肩ハーネスの高さ調節のしかた

- ・お子さまの肩の高さに合わせて調節してください。
- ・各ポジションにより、使用する肩ハーネス通し穴の位置が異なります。
- ・お子さまの体格にあわせて、肩ハーネス通し穴の位置を調節してください。
- ・お子さまをチャイルドシートに乗せて、正しい肩ハーネス通し穴の位置を調節してください。

〈後向き使用時〉

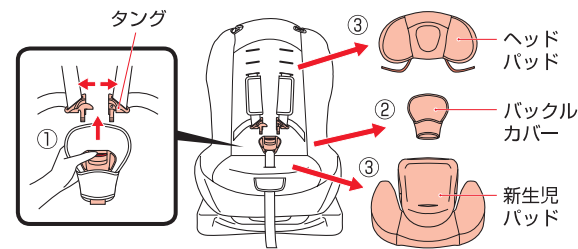
〈前向き使用時〉



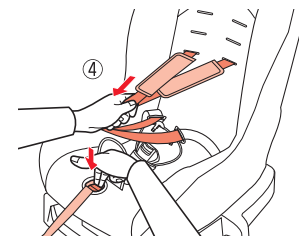
警告
・後向き使用時の肩ハーネス通し穴位置は、下から1～2段目以外では使用しない。
・お子さまの肩から遠い及び肩より低い肩ハーネス通し穴を使用しない。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。



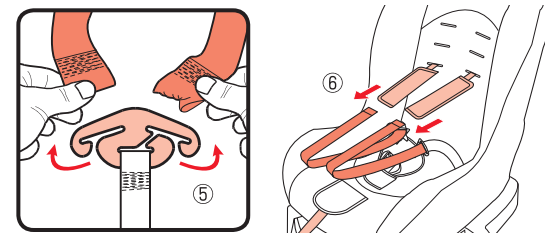
警告
・前向き使用時の肩ハーネス通し穴位置は、下から2～3段目以外では使用しない。
・お子さまの肩から遠い及び肩より低い肩ハーネス通し穴を使用しない。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。



- ① バックル解除ボタンを押し、タングを外す。
- ② バックルカバーを取り外す。
- ③ ヘッドパッドを取り外し、新生児パッドをバックルから取り外す。



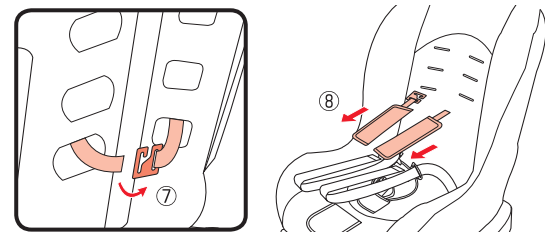
- ④ 肩ハーネス調節レバーを押しながら肩ハーネスを手前に引き、背もたれ背面のジョイント金具が見えるまで肩ハーネスをゆるめる。



- ⑤ 左右の肩ハーネスをジョイント金具から取り外す。
- ⑥ 左右の肩ハーネスをシート前側から引き抜く。

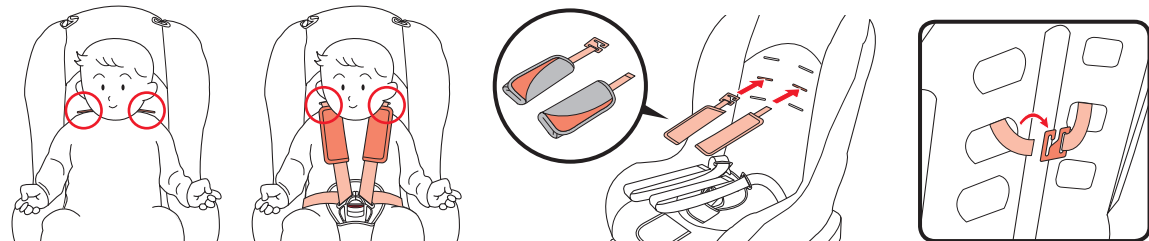


アドバイス
背もたれ背面のジョイント金具に肩ハーネスが取り付けいていない状態で調節ベルトを引っ張らない。(P30参照)

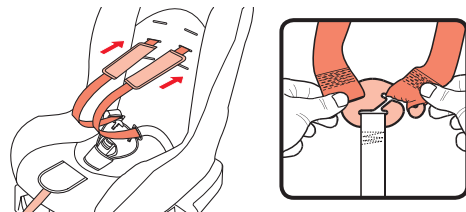


- ⑦ 背もたれ背面の肩パッド金具を外す。
- ⑧ 左右の肩パッドをシート前側から引き抜く。

肩ハーネスの高さ調節のしかた



⑨お子さまの肩と同じ高さ、もしくは肩よりすぐ上になる肩ハーネス通し穴に左右の肩パッドを通し、背もたれ背面で肩パッド金具をとめる。



⑩左右の肩ハーネスを肩パッドに通し、背もたれ背面でジョイント金具に取り付ける。



警告

- ・肩パッドを取り外した状態で使用しない。
 - ・肩パッドを左右逆で使用しない。
 - ・肩パッドを左右違う高さで使用しない。
 - ・肩ハーネス通し穴は肩パッドを通した穴以外では使用しない。
 - ・肩ハーネスや調節ベルトをねじれた状態にしない。
- 衝突などの際に充分性能を発揮できません。

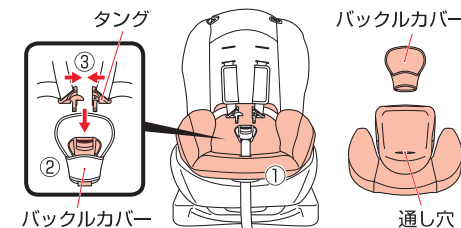
パッド類の使いかた

・お子さまの発育状況により下記の表を参考に使用してください。

後向き使用時(体重2.5kgから13kg未満)

肩ハーネス通し穴(下から)	ヘッドパッド	新生児パッド	肩パッド	バックルカバー
1段目	使用可能	使用可能	必要	必要
2段目	使用可能	使用可能	必要	必要
3段目	—	—	—	—

〈新生児パッドの取り付け〉

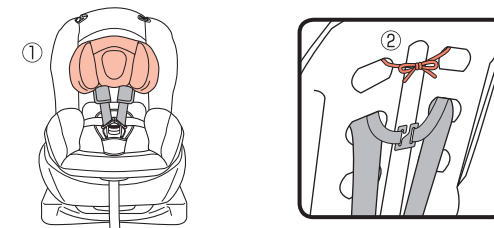


- ①バックルカバーを外した状態で、股ハーネスを通し穴に通して取り付ける。
- ②バックルカバーをバックルに取り付ける。
- ③タングをバックルに差し込む。

前向き使用時(体重9kgから18kgまで)

肩ハーネス通し穴(下から)	ヘッドパッド	新生児パッド	肩パッド	バックルカバー
1段目	—	—	—	—
2段目	使用可能	使用不可	必要	必要
3段目	使用不可	使用不可	必要	必要

〈ヘッドパッドの取り付け〉



- ①ヘッドパッドの左右のヒモを肩ハーネスよりひとつ上の通し穴に通す。
- ②背もたれ背面でヒモを結ぶ。



警告

- ・後向き時に新生児パッドを使用する場合は必ずヘッドパッドと組み合わせて使用すること。衝突などの際に充分性能を発揮できません。
- ・ヘッドパッドの上下を間違えて使用しないこと。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

●お子さまの安全性を高めるために、運転席より後ろの列の座席に取り付けることをおすすめいたします。

●本書では、右後部座席に取り付ける場合を例として説明しています。

●2列目中央の座席には取り付けない。

●車の座席形状やシートベルトの種類により、取り付けできない場合があります。
詳しくはP6～P9を参照してください。



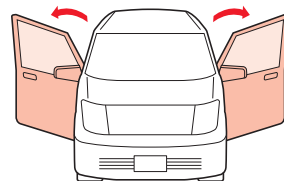
危険

- ・フロントエアバッグ装備車の助手席には本製品を取り付けない。
 - ・チャイルドシートが正しく固定できない座席では使用しない。
 - ・シートベルトに損傷がある座席には取り付けない。
 - ・補助座席、幼児専用座席には使用しない。
- 衝突などの際に充分性能を発揮できません。**

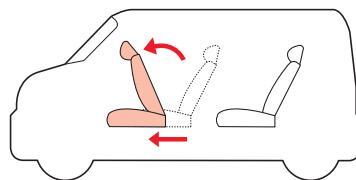
1

＜取り付け作業のスペース確保＞

①取り付け作業は、ドアの全開閉が可能な、広く平らな場所で行ってください。



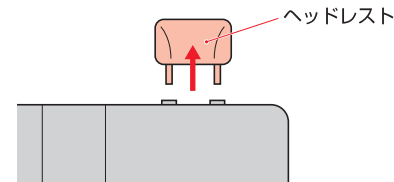
②作業前に前座席を倒したり、スライドさせることで車内での作業スペースを確保できます。



2

＜取り付ける座席の準備＞

- ・ヘッドレストが取り外せる場合は取り外す。
- ・取り外したヘッドレストはトランクルームやカーゴルームに保管すること。



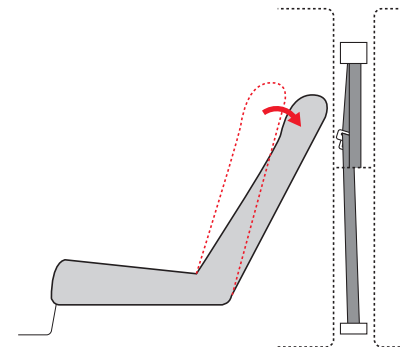
警告

- ・緊急時の脱出の妨げになる座席にはチャイルドシートを取り付けない。
- ・車のヘッドレストを外さずに取り付けるとヘッドレストと背もたれが干渉するおそれがあります。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。
- ・取り外したヘッドレストを室内に保管するおそれがあります。



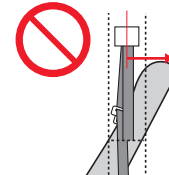
アドバイス

背もたれがリクライニングする場合は少し後方へ倒す。



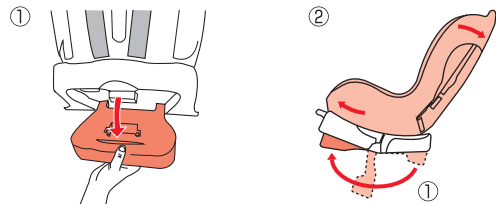
警告

- ・車の座席がスライドできる場合は、座席の背もたれの上部がシートベルトの上部取り付け位置より後方にしない。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。



後向き／取り付けかた

・後向きく体重2.5kgから13kg未満



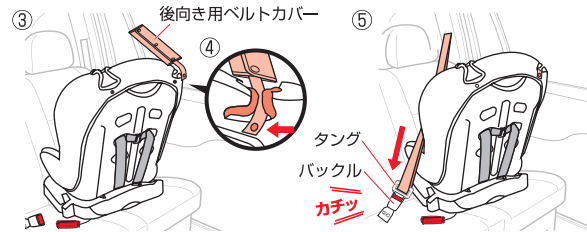
- ①後向き専用スタンドを座面足側にまわす。
- ②3段階リクライニングを3段目にする。(P12参照)

危険

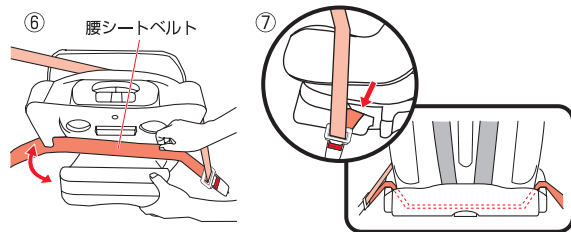
・後向き使用時、3段階リクライニングを3段目以外で使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

- アドバイス**

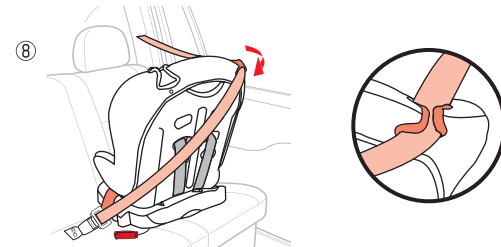
・シートベルトを全て引き出した状態で市販のクリップなどで仮どめすることでシートベルトの巻き取りを防止すると作業がしやすくなります。
- ・ALR/ELR (チャイルドロック機構付) のシートベルトの場合は、ロックがかかるとシートベルトを引き出せなくなります。この場合、シートベルトを全て戻すとチャイルドシート固定機構が解除されます。(P8参照)



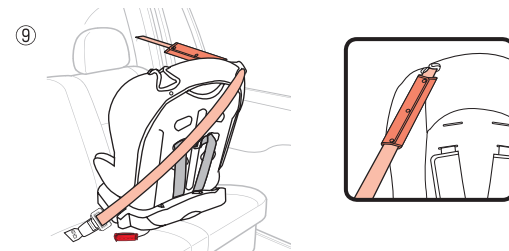
- ③車の座席にチャイルドシートを後向きに置く。
- ④後向き用ベルトカバーを車のシートベルト側の後向き用ベルトカバーフックにとめ、後向き用ベルトガイドに通す。
- ⑤車のシートベルトを引き出し、タングをバックルに差し込む。



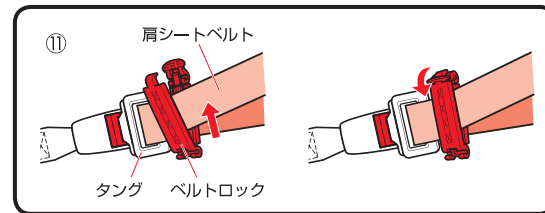
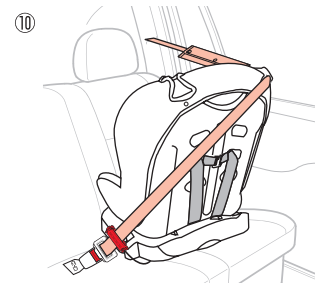
- ⑥車の腰シートベルトをチャイルドシートと後向き専用スタンドの間に通す。
- ⑦車の腰シートベルトを左右の後向き用腰ベルトガイド (青いマークがあります。)に通す。



- ⑧車の肩シートベルトを後向き用肩ベルトガイドに通す。



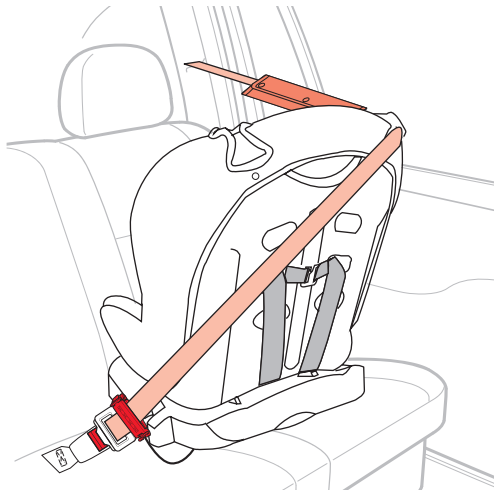
- ⑨後向き用ベルトカバーを車の肩シートベルトに巻き付け、フックをとめる。



- ⑩車のシートベルトのねじれやたるみをとる。
- ⑪ベルトロックを車の肩シートベルトのできるだけタング近くにとめ、チャイルドシートを固定する。

後向き／取り付け後の確認

- ・取り付けが終わったら、チャイルドシートが正しく固定されていることを必ず確認する。
正しく固定されていないと、衝突などの際に、充分性能を発揮できません。

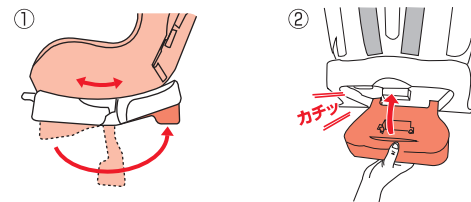


- ①シートベルトにたるみやねじれがないこと
- ②ベルトが正しく装着されていること。
- ③車のシートベルトのタングがバックルに差し込まれていること。
- ④後向き専用スタンドが座面足側で、リクライニングが最も倒れた状態であること。
- ⑤後向き用ベルトカバーを使用していること。

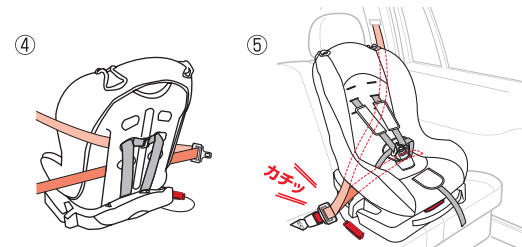
・全て確認し、正しく固定できていない場合は、もう一度P19～P20の手順で取り付け直してください。

前向き／取り付けかた

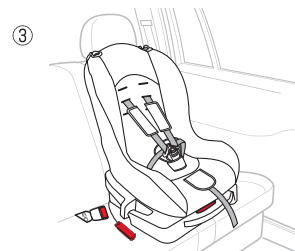
- ・前向き＜体重9kgから18kgまで＞



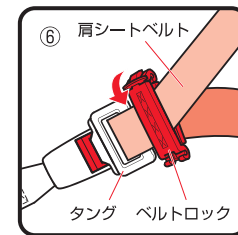
- ①後向き専用スタンドを背もたれ側にまわす。
- ②リクライニングをお子さまの体格や状態に合わせて調節する。(P12参照)



- ④車のシートベルトを引き出し、前向き用ベルトガイド(赤いマークがあります。)に通しタングをバックルに差し込む。
- ⑤車のシートベルトのねじれやたるみをとる。



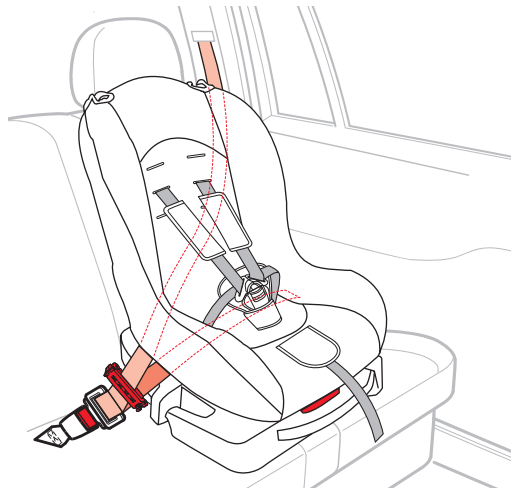
- ③車の座席にチャイルドシートを前向きに置く。



- ⑥ベルトロックを車の肩シートベルトのできるだけタング近くにとめ、チャイルドシートを固定する。

前向き／取り付け後の確認

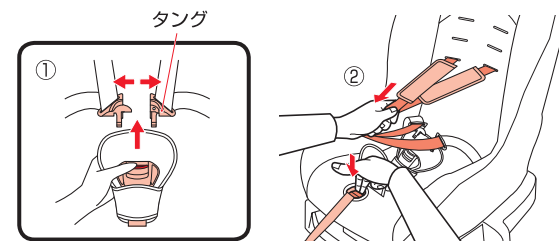
- ・取り付けが終わったら、チャイルドシートが正しく固定されていることを必ず確認する。
正しく固定されていないと、衝突などの際に、充分性能を発揮できません。



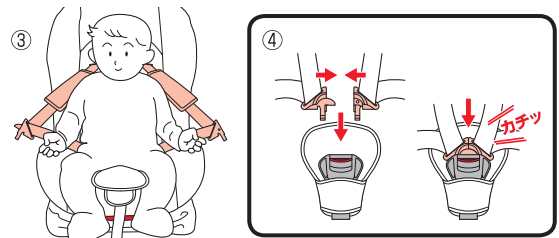
- ①シートベルトにたるみやねじれがないこと
- ②ベルトが正しく装着されていること。
- ③シートベルトのバックルが装着されていること。
- ④後向き専用スタンドが背もたれ側にあること。

・全て確認し、正しく固定できていない場合は、もう一度P22の手順で取り付け直してください。

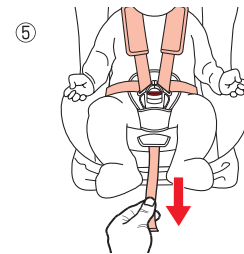
お子さまの乗せかた



- ①バックル解除ボタンを押し、タングを外す。
- ②肩ハーネス調節レバーを押しながら肩ハーネスを手前に引き、肩ハーネスをゆるめる。



- ③お子さまをチャイルドシートに乗せる。
- ④左右のタングを合わせてバックルに差し込む。



- ⑤調節ベルトを引き、肩ハーネスのたるみをなくす。



・お子さまの鎖骨と肩ハーネスの間に指が1本入る程度が適切です。



警告

- ・タングをバックルに差し込む時は、指や手を挟まないようにしてください。けがを負うおそれがあります。
- ・タングをバックルに差し込む時、「カチッ」と音がしない場合は使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。
- ・バックルに水やジュース、泥水、ゴミが入っていないことを確認する。入っている場合は使用しない。(P30参照)

お子さまの乗せかたの確認



・調節ベルトの先端は、ただでシートカバーの中に入れてください。

- ①左右の肩パッドが手前に引き出されていること。
- ②肩ハーネス通し位置がお子さまの肩よりすぐ上の通し穴にあること。そうでない場合はP13「肩ハーネスの高さ調節のしかた」をやり直してください。
- ③腰ハーネスがお子さまの骨盤上を通っていること。
- ④バックルカバーにバックルが通っていること。
- ⑤肩ハーネス、腰ハーネスにたるみ、ゆるみがないこと。



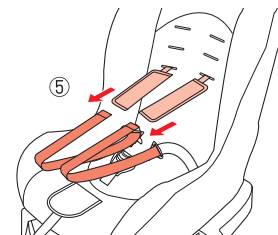
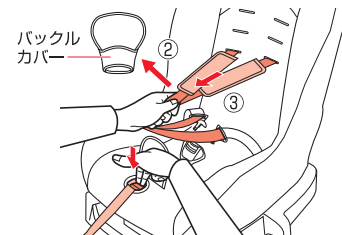
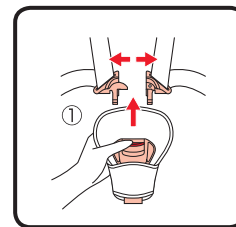
警告

・肩ハーネス、腰ハーネスは、ねじれたり、緩んだ状態で使用しない。また、腰ハーネスは骨盤上以外で着用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。



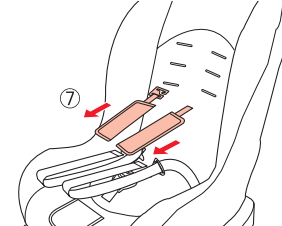
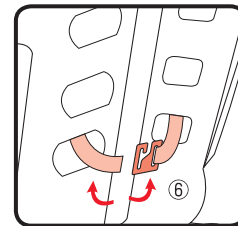
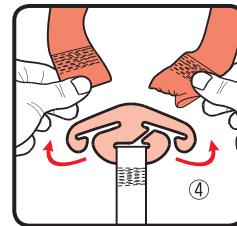
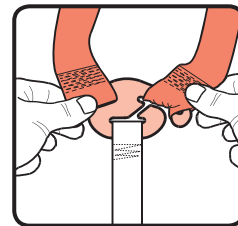
- ・正しくできていない場合は、もう一度P24の手順をやり直してください。
- ・車のシートベルトにお子さまを乗せる前と比べて大きな緩みがないこと。

シートカバーの外しかた



- ①バックル解除ボタンを押し、バックルを外す。
- ②バックルカバーを取り外す。パッド類がついている場合は取り外す。(P14参照)
- ③肩ハーネス調節レバーを押しながら肩ハーネスを手前に引き、背もたれ背面のジョイント金具が見えるまで肩ハーネスをゆるめる。

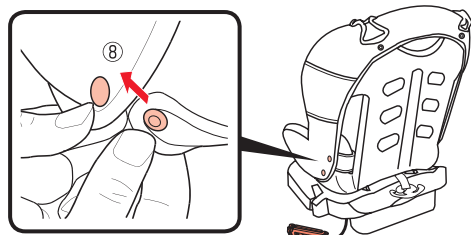
- ⑤左右の肩ハーネスをシート前側から引き抜く。



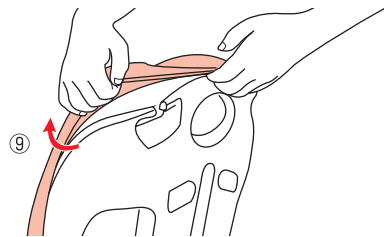
- ④左右の肩ハーネスをジョイント金具から取り外す。

- ⑥背もたれ背面の肩パッド金具を外す。
- ⑦左右の肩パッドをシート前側から引き抜く。

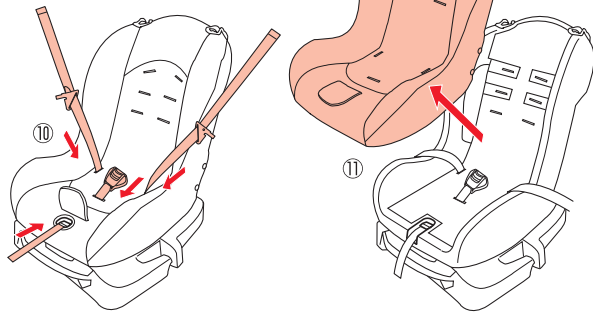
シートカバーの外しかた



⑧左右4カ所のホックを外す。



⑨シートカバーを上から外す。



⑩シートカバーから腰ハーネス、股ハーネス、調節ベルトを抜き取る。

⑪シートカバーを取り外す。

・取り付けの場合は逆の手順で行ってください。

お手入れ／保管／廃棄のしかた

〈シートカバー、ヘッドパッド、新生児パッド、バックルカバーの洗濯〉

・ヘッドパッド、新生児パッドは、中のクッションを取り外してから洗濯してください。



※ねじり又は絞り禁止



・他のものと一緒に洗濯しないでください。
色移り（移染）のおそれがあります。
・肩パッド、後向き用ベルトカバーは洗えません。

〈洗えないもののお手入れ〉

〈よごれが付着した場合〉

・タオルなどで乾拭きしてください。

〈水溶性の汚れ（果汁、ヨダレ、オシッコなど）の場合〉

・40℃前後のお湯にタオルを浸し、軽く絞って拭き取ってください。

〈非水溶性の汚れ（牛乳、油脂、マヨネーズなど）の場合〉

・40℃前後のお湯に中性洗剤を溶かし、スポンジを浸し、軽く絞って汚れた部分を軽くこすります。その後、水又は温水にタオルを浸し、軽く絞って十分に中性洗剤を拭き取ってください。



・お手入れ後の製品は乾いたことを確認してからご使用ください。



・本体の洗浄にはシンナーなどの溶剤を使用しない。変色、変形、劣化のおそれがあります。

〈保管するときは〉

・本体を湿気のないポリ袋などに入れ、直接日光に当たらない、冷暗所に保管してください。



・屋外に放置し、雨などにさらさない。
劣化などにより、十分な性能を発揮できないおそれがあります。

〈廃棄するときは〉

・事故や落下などにより強い衝撃を受けた製品には、本品に「事故品」と油性ペンで目立つところに記入し再利用を防止してください。
・地球環境のため、不要になった場合は、お住まいの各自自治体の指示にしたがい処分、廃棄してください。

困ったときは〈解決しない場合は弊社お客様サポートセンターに連絡してください。〉

〈ご使用前に困ったとき〉

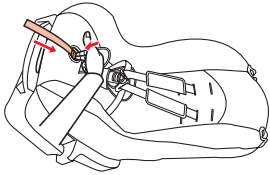
お気づきの点	対 処 方 法
梱包箱の内容物に不足や間違いがある。	弊社お客様サポートセンター（0120-415-814）または、お買い上げの販売店までお問い合わせください。 参照P32「アフターサービスについての連絡先」
チャイルドシートをご使用になる車に、取り付け可能か判らない。	インターネットのグレコホームページ「 http://www.gracobaby.jp/ 」や店頭のチャイルドシート取り付け可能車種一覧表を確認してください。
車のどの座席に取り付けられれば良いのか判らない。	エアバックの有る助手席に取り付けることはできません。また、車両後部座席（3列シートの車両の場合は2列目以降の座席）への取り付けをお奨めします。参照P6～7「座席の条件」
チャイルドシートをどの向きで使えば良いか判らない。	お子さまの体重や成長に合わせて、お使いになる向きを決定してください。参照P5「お子さまの条件」

〈車への取り付けで困ったとき〉

お気づきの点	対 処 方 法
車のシートベルトの通し方が判らない。	取扱説明書及び本体表示の内容に従って正しく通してください。 参照P19～20「後向き／取り付けかた」、P22「前向き／取り付けかた」
シートベルトの“ねじれ”が取れない。	シートベルトのバックルにタングを“ねじって”挿入していないか確認してください。 参照P19～20「後向き／取り付けかた」、P22「前向き／取り付けかた」 チャイルドシートを取り外し、車の取扱説明書に従って“ねじれ”を取り除いてください。
チャイルドシートを取扱説明書の通りに車の座席に取り付けてもグラグラする。	本製品が取扱説明書に従い、正しく取り付けられて、シートベルトにねじれやたるみがない場合は安全上問題ありません。たるみやねじれが見られる場合は、もう一度ははじめから取り付け直してください。 参照P21「後向き／取り付け後の確認」、P23「前向き／取り付け後の確認」 何度取り付けても固定できない場合は、チャイルドシートと車の座席がミスマッチの可能性があります。弊社お客様サポートセンター（0120-415-814）または、お買い上げの販売店までお問い合わせください。 参照P32「アフターサービスについての連絡先」
リクライニング操作ができない。	シート部とベースの間にものが挟まっていないかを確認してください。

〈お子さまの乗せかたで困ったとき〉

お気づきの点	対 処 方 法
肩ハーネスを最も引き出した状態で、お子さまに肩ハーネスを通してバックルにタングが差し込めない。	肩ハーネスの位置を確認してください。参照P13「肩ハーネスの高さ調節のしかた」 車内の温度を調節し、厚手の上着は脱がせてください
肩ハーネスの左右の張りに大きな差がある。	肩ハーネス通し穴の位置が左右同じ高さになっているか確認してください 参照P13「肩ハーネスの高さ調節のしかた」
肩ハーネスとお子さまの適切なフィット感が判らない。	調節ベルトを引き、お子さまの鎖骨と肩ハーネスの間に指1本入る程度まで締め込んでください 参照P24「お子さまの乗せかた」
チャイルドシートのバックルにタングが入らない。	タングとバックルの隙間にバックルカバーなどを挟み込んでいないか確認してください 参照P24「お子さまの乗せかた」 バックルにジュース、泥水、ゴミ、食物カスなどが入った為に解除ボタンが動かない場合は使用できません。 販売店または弊社お客様サポートセンターにご連絡ください。 参照P32「アフターサービスについての連絡先」
ジョイント金具が座面裏に入り込んで取れない。	背もたれ背面のジョイント金具に肩ハーネスが取り付けいていない状態で調節ベルトを引張りすぎるとジョイント金具が本体奥に入りこむ場合があります。万が一ジョイント金具が奥に入り込んでしまった場合は、以下の方法をお試しください。 ①本製品を背もたれ側に倒す。 ②肩ハーネス調節レバーを押しながら、調節ベルトを20cm程度残して押し戻す。 ③本製品を振ってジョイント金具を背面から取り出す。



〈保証期間とアフターサービス〉

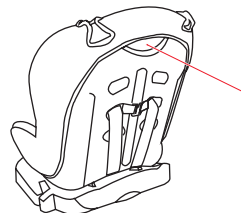
・アフターサービスについて

ご使用中に故障などが発生したり、点検中に発見した場合、部品の交換または修理の必要が生じた場合、及びその他異常を感じた場合は、ご使用を中止し製品名・品番・ロット番号をご確認のうえ弊社お客様サポートセンター(0120-415-814)または、お買い上げの販売店までお問い合わせください。

・保証期間中(お買い上げ日より1年間です。)に部品の欠品、不良加工など弊社の責任によるもの、取扱説明書や注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、保証規定にもとづき無償修理を致します
ただし、お預かりした製品を確認した結果、弊社にて修理ができないと判断した場合は製品交換とさせていただきます。

・ご購入日より3年以上経過した製品についての修理はいたしますが、製品の修理箇所以外の品質の保証はいたしかねます。(修理箇所の保証期間は1カ月です。)
また、製造中止後の製品については、修理必要部品の在庫がなくなった場合、修理が出来ないこともあります。
(部品の保有期間は、製造中止後3年間です。)

・お問い合わせの際は、スムーズな対応が行えますよう、チャイルドシート背面ラベルの**品名・品番・ロット番号**を必ずお伝えください。



○○○○○○○○ 000 00
000000-000000-000
品 番 ロット番号

品名・品番
ロット番号シール

アフターサービスについての連絡先

アップリカ・チルドレンズプロダクツ合同会社

〈電話連絡先〉

お客様サポートセンター TEL **0120-415-814**

携帯電話からご利用の場合(通話料お客様負担) TEL **0570-004-155**

受付時間: AM10:00~PM5:00(土、日、祝日、弊社所定休日を除く)

お買い上げ時レシート
貼り付け位置

・お問い合わせの際に、スムーズな対応が行えますよう、お買い上げ時のレシート(領収書)を貼り付けてください。

MEMO
